



代沢九条けいじばん

第31号
2015年3月11日発行
代沢九条の会
(事務局)
代沢2-37-5
Tel&Fax (5481-8189)

日本には、さまざまな人がいて、さまざまな考え方がある。それでも、根っこに九条をおく。

日本が戦後守ってきた 平和主義が安倍政権に よって捨て去られようと しています



そして沖縄は？(裏面)

日本国憲法第九条

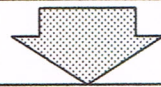
日本国民は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

安倍政権には、憲法九条の平和主義にのっとり外交する姿勢が見受けられません。

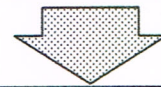
国際紛争には武器をもって参加することで諸外国から認められることをひたすら目指しています。

(これを積極的平和主義とよんでいます)



そのために

- ・集団的自衛権を認める
- ・武器の製造と輸出を促進する
- ・自衛隊の海外派遣の手続きを簡単にする
- ・自衛隊は戦場のすぐ近くまで行って後方支援する
これらを可能にする法律を今、作ろうとしています



そのさきには

後方支援だけでなく、前線で武力行使ができるように、憲法九条をかえ、自衛隊を国防軍という軍隊にする改憲案を示しています。

(自民党日本国憲法改正草案 平成24年)

安倍首相にふさわしいことばは？

安倍首相は **こ ん な** 人(ひと)です。戦争で奪われるものに気づいていません。安倍首相は、『戦争はもうこりごり〜』という国民の気持を全くわかっていません。(回答例は裏面に)

代沢九条の会は

私たちは70年前の戦争の教訓をかみしめています。

- ・国は暴走しだすと、止められなくなる
- ・国がいったん戦争できるしくみをついたら国民は逆らえなくなる。

私たちは国民の命を第一に大切にす国を望みます。私たちは戦争を否定する現行憲法九条を守り、それでこそ得られる信頼をもとに、武力でなく外交で紛争の解決に力をつくす国を望みます。

投票は平和づくりの第一歩

4月26日は区長・区議選挙

代沢九条の会とは・・・憲法九条を守ることが大切だと考えている代沢地域に住む人たちの集まり。大江健三郎氏、澤地久枝氏らの『九条の会』の呼びかけに応じて、独自に憲法九条を守る活動を行っています。『代沢九条けいじばん』を年4回発行し、駅頭や戸別に配布しています。

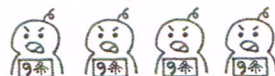
フリートーカーの会

4月4日(土) 13:00~15:00代沢東地区会館2階小会議室

3ヶ月に一度の、自由に世の中を語る会です。会員以外の方も大歓迎です。ぜひご参加ください。

URL:<http://www7b.biglobe.ne.jp/~daizawa9j/>





代沢9条の会の皆様、2.24

いつも沖縄問題への支援応援、ありがとうございます。
昨日、山城博治さん*ともう1名が、無事に解放されましたが、今朝から、もうゲート前で活動開始です。過激ではなく、けれども熱く。たとえ敵でも、相手を尊重する。2週間ほど前に、辺野古で一人の一般市民が県警に拘束されたとき、「仲間を解放させられなくて、なんの市民活動、大衆運動か！」と言って、山城さんと抗議メンバーみんなで、名護署まで駆け付けて、仲間の身柄を奪還しようとしたときの、山城さんの言葉です。
だから、山城さんが逮捕された時は、みんなで悔しがり、悲しみ、心配し、解放された時は、みんなで心の底から喜び、安堵した。山城さんという男は、そういう男なんです。ではまた。（*山城博治さんは2月22日キャンプシュワブ前の抗議行動で逮捕されました）

代沢9条の会の皆様 1.18

毎週月曜日の午前10時、那覇県庁前から辺野古に向けて、抗議活動のバスが出ています。那覇から辺野古まで所要1時間半。乗っているだけでも、結構きついものです。そんな中、色々な人が、色々な替え歌を作って、みんなを和ませています。勇気づけています。

それで、私も替え歌を作って、バスの中でみんなで歌いましたので、代沢9条の皆さんにも、ご紹介します。

【青い山脈の替え歌】

1. 今日も来ました 来週も
そのまた次の月曜も
辺野古の海は みんなの宝
あきらめず 声をあげよう
われらが民意
2. 海に漕ぎだす カヌー隊
辺野古の海の守り神
赤、青、黄色のカヌーは行くよ
取り戻そう 自由な海を
みんなの海を
3. 青い海原 サンゴ礁
辺野古の海はかなさんどう
ジュゴンもサンゴも 命どう宝(ぬちどうたから)
負けないぞ 声をあげよう
われらが民意
訳注:かなさんどう=愛おしい
訳注:ぬちどうたから⇒ 命は宝
(沖縄在住 岩村利一・幸子)

喧嘩と軍拡

小学校1年生のときの話。
友達のN君と些細なことで言い合いになりました。口が達者な彼に言い負かされたので悔しくなり、顔を平手打ちにしました。おこった彼は棒で殴ってきました。こんどはこちらが彼めがけて石をぶつけました。悪いことに石は彼の後頭部に命中し血が出て外科行きに。
学校の先生、N君の両親、うちの両親から、こっぴどく叱られ、その後仲直りができました。その時父親が「いいか、相手から何を言われても手を出したら負けだ。この前の戦争だって、そうだったんだよ『手をだしたらどんどんひどい手を使うようになるんだぞ。わかったか』」と言ったのを覚えています。国防の名の下に行われる軍拡の問題にも通ずる50年前の体験でした。（深田伊佐夫）

読書のすすめ

最近読んだ本がよかったですので皆さんにおすすめします。
『日本はなぜ、「基地」と「原発」を止められないのか』
戦後70年の謎を解く 著・矢部宏治 集英社
価格 1200円＋税
内容は、題のとおり、日本人の多くの人がいらないと思っている「米軍基地」と「原発」が、だれもおかしいと思いつながら、止められないことについて、戦時中から現代までにわたって調べ、謎を解いていることです。
ほかにも、多岐にわたっていますので、たいへん参考になります。
その中でよく出てくる単語です。
「日本国憲法」「昭和天皇」「マッカーサー」「日米安保条約」「日米地位協定」「大気汚染防止法」「日米合同委員会」「適用除外」「国際連合」等です。
読んでみて参考になると思いますので、ぜひみなさんにおすすめしたいと思います。現状を変革するには、まだ遅くはありません。（松尾弘）



私の戦争体験～そのとき16歳の少年は～(2)

昭和19年の11月からB29による日本本土空襲が始まった。米空軍の空襲への政府の『付け焼刃の対策』に私たち中学生は狩り出された。19年12月からは大崎駅前の鉄工会社へ回された。本来はスチーム暖房関係の企業だが軍需産業に転換しブルドーザーを製作していた。20年3月10日の東京大空襲で亀戸の本社工場が全焼したので、私たち中学生の一部20名ほどが急遽、焼け跡整理の目的で空襲の2、3日後に亀戸へ派遣された。見渡す限り焼け野原で、電車は両国でストップ。歩く道の両側に焼死体がごろごろ。川には溺死体が多く、悲惨であった。行ったものなのす術はなく、間もなくそれは中止となった。

20年4月からは小学校を除き、学校の授業はすべて停止となった。一旦戦争になるとこんな無茶な事態となることを私たちは認識して、これからも政治権力を監視しなくてはならない。その4月、旧制中学の4年生になると同時に、母の実家のある広島県福山市へ疎開した。転入した福山の中学校ではいきなり動員先の三菱電機の工場へ行かされ、飛行機の爆弾投下器の部品のコイルばねを作った。今考えてみると、すでにそのときの戦局は本土がB29の爆撃に曝されていて、爆弾投下器を搭載した爆撃機などの必要性はなかったのが実情のはず。軍部に翻弄されて先の見通しのない企業現場になっており、もう日本はいよいよ末期状態に追い詰められていたのである。

(次号につづく)

(土屋光男 1929年生)

安倍首相とは・・・

- ①自分は国の最高責任者であり、国を思うように動かせると錯覚して悦にいつているとんでもない・・・ひと
- ②経済界の言うことをきいて原発再稼働はしても、しもじもの国民の声は聞いている振りして結局無視する・・・ひと
- ③祖父(A級戦犯の岸信介氏)の思想を継承し、戦前の日本をなつかしむ面を持つ危険な・・・ひと
- ④戦争の悲惨さを肌で感じている普通のひとびとの気持ちを理解することのない、裕福な別世界に住む・・・ひと
- ⑤アメリカに気に入られるためには何でもする・・・ひと
- ⑥言葉たくみに話をしてはいるが、人としての誠意・熱意は全く感じられない・・・ひと

これらが誤解であることが、今後の安倍首相の言動によって証明されることを切望するものです。（代沢九郎人）

戦争参加、原発再稼働、辺野古基地移設、を推進する
安倍政権を止めたいなら→ 4. 26には選挙にこう！
誰が当選するか？より、与党が日本全体で何票とるか？
が国民の意志表示になるからです！！（松田K）